

○日時 令和5年7月4日(火)
13:45~14:15
○場所 市役所本庁舎4階記者会見室

ウイングアーク1st株式会社の北九州市への進出 及び包括連携協定締結式

次 第

1. 出席者紹介
2. 北九州市説明
(北九州市長 武内 和久)
3. ウイングアーク1st株式会社説明
(ウイングアーク1st株式会社 代表取締役 社長兼CEO 田中 潤氏)
4. 協定書署名
5. 質疑応答
6. 写真撮影

配布資料

- ・北九州市説明資料
データ活用で“成長への再起動”北九州市への進出及び包括連携に
関する協定締結式
- ・ウイングアーク1st株式会社説明資料
北九州市への進出及び包括連携協定
《参考配布》
- ・令和5年7月4日付 北九州市プレスリリース資料
- ・令和5年7月4日付 ウイングアーク1st社リリース資料

【問い合わせ先】
北九州市産業経済局 次世代産業推進課
課長：大庭、係長：福田
電話：093-582-2905

令和5年7月4日
北九州市産業経済局

報道機関各位

東証プライム上場企業・ウイングアーク1st株式会社の進出 市長の民間経験や培ってきたネットワークを活かした トップセールスによる進出企業

北九州市への進出及び包括連携協定締結

北九州市とウイングアーク1st株式会社は、令和5年7月4日、同社の北九州市への進出と、市の掲げる「成長への再起動」に向けた取り組みを推進するための包括連携協定を締結しました。

ポイント① ウイングアーク1st社の北九州市への進出

同社は、地域密着型で地方のニーズや課題を掘り起こし、実証を通じた地域創生のモデルを確立させ、そのモデルを事業展開することでビジネス拡大を見込んでおり、地方の新たな拠点となる「地域創生ラボ」の創設を決定しました。その進出先として、課題克服に向けて果敢に取り組み、DX(デジタルトランスフォーメーション)・GX(グリーントランスフォーメーション)の先進的な評価がある北九州市が最適であると判断し、今回の進出へと至りました。

同社は、今月中に「地域創生ラボ」の準備室を開設、来年4月にビジア小倉へ本格進出予定であり、将来的には3年間で30人規模の雇用を見込んでいます。同ラボでは、本社に設けていた新規事業開発や企画の一部を担う計画です。

ポイント② 包括連携協定の内容

同社と市は、地域企業のDX・GX推進、スタートアップ支援や企業誘致、デジタル行政の推進及び職員のデジタルスキル向上などを進めるための包括的な連携協定を締結しました。

この連携協定を通じて、データ活用による企業変革の知見や、国内外に600社のエコシステムを持つ同社の強みと、市のポテンシャルを掛け合わせ、地域課題の解決モデル「ザ・北九州モデル」を確立させ、成長への再起動につなげていきます。

※詳しくは、北九州市発表資料、ウイングアーク社発表資料をご参照ください

【問合せ先】

産業経済局次世代産業推進課 課長:大庭、係長:福田 TEL:093-582-2905

2023年7月4日

報道関係各位

ウイングアーク1st株式会社

**北九州市とウイングアーク1stが連携協定を締結
データ活用で成長への再起動、「ザ・北九州モデル」を構築**

福岡県北九州市（市長：武内 和久）とウイングアーク1st株式会社（住所：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO 田中 潤）は、北九州発の地域創生モデルの創出を目的に「北九州市への進出及び包括連携に関する協定」を7月4日（火）に締結しました。



■背景

北九州市は、2022年度「第1回日経自治体DXアワード大賞」の受賞や、同年開催された「夏のdigi田甲子園」での内閣総理大臣賞受賞をはじめ、国が定めた「SDGs未来都市」の選定や次世代エネルギーの集積など、デジタルおよび環境への取り組みを積極的に推進しています。

ウイングアーク1stは「Empower Data, Innovate the Business, Shape the Future. 情報に価値を、企業に変革を、社会に未来を。」というビジョンのもと、データ活用のプロフェッショナル企業として、長年にわたり多くの企業の業務効率化や業績向上を支援しています。2020年に、日本プロサッカーリーグで活躍する株式会社ギラヴァンツ北九州とパートナー契約を締結し、2021年6月23日に北九州市・ギラヴァンツ北九州・ウイングアーク1stの3者で、スポーツテックにより選手のパフォーマンス向上を図る連携協定を結んでいます。2022年には、行政手続きデジタル化を検証する北九州市の公共施設のオンライン申請に関する実証実験を実施するなど、データ活用領域における、取り組みを北九州市と推進してまいりました。

このたびの締結は、北九州市が強みとするデジタルおよび環境面への取り組みと、ウイングアーク1stが強みとするデータ活用と培ってきたエコシステムをし、地域課題を解決する北九州市発の地域創生モデル「ザ・北九州モデル」の構築を目的とします。

このたびの締結を機に、ウイングアーク1stは北九州市に実証拠点となる「地域創生ラボ」を創設し、7月には準備室を開設、2024年4月に本格進出を予定しています。将来的には「地域創生ラボ」に携わる当社グループの雇用を3年で30名の採用を目指しています。この「地域創生ラボ」での実証(※)を通じて構築した「ザ・北九州モデル」の全国展開を図ることで地域創生とビジネス拡大を見込んでいます。

(※)具体的な実証は以下を予定しています。

- ①北九州市内における経営データに基づくDX伴走支援スキームの構築（中小企業支援プラットフォーム「BanSo（バンソウ）」の活用）
- ②中小企業向け脱炭素経営支援モデルの構築（「EcoNiPass（エコニパス）」サービスの提供）
- ③海外スタートアップ企業のGX（グリーントランスフォーメーション）技術の北九州における国内初実証
- ④行政手続きデジタル化の推進

■連携事項

1. 北九州市への進出に関する事項
2. 包括連携の推進に関する事項
 - 2-1. 地域企業のDX・GX推進に関する事項
 - 2-2. スタートアップ支援や企業誘致に関する事項
 - 2-3. デジタル行政の推進及び職員のデジタルスキル向上に関する事項

■本連携に伴い、北九州市長のエンドースメントをご紹介します。

「このたびの進出と締結を嬉しく感じ、同時に身が引き締まる想いでいます。このまちをもっと良くしていきたい、北九州市のポテンシャルを引き出して、「成長への再起動」を実現させたい、という思いから、既成概念を打破する気持ちで、日々、市政に取り組んでいます。連携を機に、ウイングアーク1st社と一緒に、このまちの課題を克服し、稼げるまち、若者の期待や夢があふれるまち、そして、企業に選ばれるまちを実現させ、北九州市の「成長への再起動」を強力に後押ししていきたいと考えています。また、北九州市における課題は、日本全国の自治体における共通課題となるものです。ここ北九州市で生み出した課題解決の成功モデル、「ザ・北九州モデル」を全国へ展

開し、日本を変えていくこと。ウイングアーク1st社にとっても、北九州市を選んだことが間違いではなかった、と言っていただけるよう、官民で取り組んでまいります」

北九州市長 武内 和久氏

<製品・サービスに関するお問い合わせ先>

ウイングアーク1st株式会社

〒106-0032 東京都港区六本木三丁目2番1号 六本木グランドタワー

TEL：03-5962-7300

お問い合わせフォーム：<https://www.wingarc.com/contact/>

<本件に関するお問い合わせ先>

ウイングアーク1st株式会社 広報担当 山本・古荘・中谷

TEL：090-5391-1510（山本）、080-3006-2396（古荘）、090-6556-6483（中谷）

E-mail：pr@wingarc.com

※本リリースに掲載する社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。